

事務局ニュース07-NO.01 2007.6.21 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

「放課後子どもプラン」が開始される大事な年 県連協の2007年度がスタートしました

埼玉県学童保育連絡協議会総会、研究集会が無事、盛況のうちに終わりました。総会には、上田知事（代理） 県会議員、関係諸団体の方々が出席し、多くの市町村の首長から祝電・メッセージが届きました（詳しい内容は後日、全世帯配布のニュースにてお知らせします）。

4月から「放課後子どもプラン」が開始されました。また、71人以上の大規模クラブは2010年度までに分割に向けた対応を考えなくてはなりません。今年度も学童保育を発展させるために共に力を合わせていきましょう。

報 告 事 項

1. 国の動き

(1) 6月1日、『子どもと家族を応援する日本』重点戦略会議の中間報告が出されました。安倍内閣のもとで少子化問題にとりくむために開催してきた同会議が中間報告を発表しました。4分科会のうち、2分科会の文書に「放課後子どもプラン」に関する記載があります。

地域・家族の再生分科会の議論の整理

3 多様な働き方を支える保育をはじめとする子育て支援サービス

(4) 学齢児の放課後対策

学齢期の放課後対策については、その普及状況を見ると地域差が大きく、放課後児童クラブ、18年度まで実施した地域子ども教室のいずれも行われていない空白市町村も、未だ存在している。また、放課後児童クラブは、主に小学校1～3年生を対象として進められてき

たが、高学年期における安全な児童の居場所の確保や、多様な就労時間に対応した開所時間の設定も課題となっている。

さらに、本年度より「放課後子どもプラン」の推進を図ることとしているが、これを展開していく上で、子ども同士の交流や、退職者・高齢者などを活用した地域とのつながりを大切にする取組も求められている。

こうした実情を踏まえ、全小学校区への「放課後子どもプラン」の普及を図ることにより、幼児期から、高学年期まで円滑に、安全で健やかな活動場所を確保し、多様なニーズに対応した柔軟なサービスを提供していくことが必要である。

点検・評価分科会の議論の整理

3. 問題の所在 (4) 保育環境の整備について

子どもの放課後をめぐる問題について

子どもをめぐる事件の多発等に伴い、小学生も安心して過ごせる居場所づくりが必要とのニーズが近年急速に高まっているが、公園など学校以外で安心して活動できる場所が少ないことに加え、すべての児童を対象とした放課後対策が十分でないこと、開所時間の延長や高学年の利用、といった課題がある。

4. 今後の方向 (2) 個々の重点テーマについて 保育環境整備について

2) 子どもが放課後も安心して過ごせる居場所づくり

・平成19年度から実施する「放課後子どもプラン」においては、各地で実施されている放課後対策の実態や親のニーズを踏まえ、事業の円滑な実施を図る。

・すべての児童を対象とした放課後対策を含め、「放課後子どもプラン」を推進する中で、開所時間の延長の取組や高学年利用、適正規模化の課題に対応する。

(2) 6月1日、教育再生会議第2次報告が出されました

「心と体・調和のとれた人間形成を目指す」の「提言4 地域ぐるみの教育再生に向けた拠点をつくる」に『放課後子どもプラン』の完全実施、学校運営協議会の指定促進」と明記されています。

国は、本年4月からの「放課後子どもプラン」の実施状況を把握し、全国全ての小学校区での実施に向けて、地方自治体がより取り組みやすいものとする。

国、地方自治体は、地域ボランティアと学校の連携を図るため、PTA、卒業生、地域の人々などが土曜の補充学習、部活動、施設管理など学校運営を支援する体制が全国の学校で整えられるよう支援する。 以下略

(3) 子ども未来財団が『放課後児童クラブにおけるガイドラインに関する調査研究』を発表。厚生労働省の外郭団体である同財団が標記報告書を公表しました。これは、厚生労働省がガイドラインを策定する動きと呼応する形で、同財団としてまとめたものです。

「専用の部屋の確保」「常時複数の指導員の配置」等、国の実施要綱を越えた基準を規定していることもさることながら、「対象児童の規模」「指導員の役割」「職場倫理」「活動内容」「保護者への支援・連携」「児童虐待への対応」等について一定の考え方を示しており、私たちの運動に大いに活用していける内容のものです。是非、現物をお読み下さい。A4版132ページ。

増刷したものを200円（印刷代のみ）でお分けします。

FAXないしEメールにてお申し込みください。

2 . 埼玉県動き

* 第1回県放課後子ども教室推進委員会が開催 6月6日、於さいたま共済会館

「放課後子どもプラン」スタートに当たって「実施主体である市町村において円滑な取組促進が図られる」ことを目的として都道府県に設置する「推進委員会」が埼玉県でも設置され、その第1回目の会議が開催されました。

国は都道府県に対して、「放課後子どもプラン」の「推進委員会」を設置するように指導していますが、埼玉県は「放課後子ども教室」についてのみの「推進委員会」かのような誤解を招く名称としました。しかし、別添の資料3「埼玉県放課後子ども教室推進事業の実施方針について」（別添15頁）に「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）との連携・協議（子育て支援課との連携）」「元気な学校をつくる地域連携事業」との連携 実施市町村の拡大市町村への支援」とあるように、実際には、放課後児童クラブとの連携も取組の1つに掲げています。

この については、別添の「放課後子どもプランに係る研究会の設置について」（別添18頁の右）にあるように、子育て支援課内部に「放課後子どもプランに係る『放課後児童クラブ』と『放課後子ども教室』両事業の連携方策などについて検討する」ための研究会を立ち上げ、「ア 両事業に係る実態調査（県内全市町村） イ 先進市町村の現地調査（県内外） ウ 両事業の連携の在り方の検討 エ 優良事例取りまとめ オ 検討経過や優良事例等を市町村に普及」等を行い、「推進委員会へ報告」していく方針です。

県連協から薄井俊二会長が委員に委嘱されました。

3 . 埼玉県学童保育連絡協議会のとりくみ

(1) 3クラブが新規加盟しました！

障害児学童保育 草加市グローイング 障害児学童保育 久喜市おひさまクラブ
行田市荒木学童クラブ

(2) 第35回県連協総会が開催されました 5月26日 於埼玉教育会館

32市町133人の出席がありました。詳細は追って全世帯ニュースでお知らせします。

(3) 第35回研究集会が開催されました 5月27日(日) 於埼玉県立大学

51市町745人の参加がありました。指導員=620人、保護者=105人、保護者OB=8人、その他=12人でした。

全体会は「子どもたちに生きる希望を！～今日のいじめ、自殺問題にもふれて～」と題して土佐いく子さん(大阪府公立小学校教諭)が記念講演しました。午後は17分科会を開催しました。

(4) 助け合い基金、7学童へ貸し出しました

東松山市学童保育の会の7学童保育から貸与の申請がありました。運営委員会で検討し、貸し出しを承認しました。

4 . 全国学童保育連絡協議会の動き

(1) 厚生労働省など政府、政党、地方6団体へ要請行動

5月30日、2008年度の国の予算編成、「放課後子どもプラン」等について、厚生労働省、文部科学省等の各省庁、地方6団体、政党各党派などに対して要請行動を行いました。

埼玉県から所沢市学童クラブの会専従職員の春口さん、飯能市学童クラブの会専従職員の江原さん、県連協の森川・羽澤両専従職員が参加しました。

(2) 第35回全国合宿研究会が開催されました 5月12～13日 於東京

今回のテーマは、「学童保育の拡充と放課後子どもプラン」

全国連絡協議会からは、子ども未来財団作成の「放課後児童クラブガイドライン研究調査報告書」の分析・評価等が提起されました。続いて、「いま、子どもとともに創りたい生活とは」と題して田中孝彦氏(都留文科大学教授)が講義しました。

これらを受けて、「放課後子どもプラン」の動き、「プラン」の問題との関わりで子どもたちにどのような生活を保障するか等を討議しました。

(3) 第32回全国指導員学校北関東会場が開催 6月10日(日) 於茨城大学

初めて茨城県内で開催し、参加者800人、埼玉県内から200人(南関東指導員学校に参加された方も)が参加し大成功でした。全体会では、「どの子にも豊かな放課後を」のテーマで白石正久氏(大阪電気通信大学教授)が講義しました。午後は18分科会で学習しました。

お知らせ・お願い

1. 第1回県連協代表委員会へご出席を

日時 7月7日(土) 18:00開場 18:30開会

場所 さいたま市桜木公民館・講座室1
(シーノ大宮センタープラザ5F)

内容 【交流】 「放課後子どもプラン」地域での動き、私たちのとりくみ 厚生労働省の大規模解消方針についての市町村の反応、私たちの要求ととりくみ等 「指定管理者制度」導入等の市町村の施策変更などの動き

【議題】 県連協の方針の重点の紹介と討議

その他

情報収集のお願い 交流の部の についての市町村の動き、地域連協・学童保育としてのとりくみ等を教えてください(7月4日までに県連協へ)。当日の資料に入れさせていただきます。

2. 参院選、知事選挙に向けて、県連協として候補者に公開質問状を準備中

3. 県連協専門委員会のメンバー選出のお願い

県連協には、当面している課題を専門的に深め、必要なとりくみを進めるためにいくつかの専門委員会があります。地域連協ないし学童保育からこのメンバーを募集します。

メンバーには交通費(実費)のみ支給します。FAXないしEメールで応募して下さい。

学習研究委員会 県連協が主催する研修会の内容づくり、講師選定などを行います。

第3金曜日夜 6月22日(金) 於県連協事務所(JR大宮駅下車徒歩15分)

労働条件改善委員会 指導員の労働条件の改善を進めることを目的とした委員会。

第4木曜日夜 6月28日(木) 於県連協事務所

障害児問題専門委員会 障害のある児童の受け入れを促進するために必要な活動を行います。

第4水曜日夜 6月27日(水) 於県連協事務所

保育内容・保育指針専門委員会、公立公営委員会、市町村制度・政策研究プロジェクト(仮称)の開催日程については追ってお知らせします。

4. 地域連絡協議会の代表者、郵便物の発送先等を教えてください!

FAXないしEメールにてお知らせ下さい。

5. 全国連協新刊『よくわかる放課後子どもプラン』をご活用下さい!

6. 『研究集会資料集』をご活用下さい!

『研究集会資料集』は、学童保育をとりまく情勢について、県下各地の活動報告も含めて学べる 厚生労働省や県施策に関わる最新情報(今年度は、「放課後子どもプラン」関連資料が目玉)等の貴重な資料です。父母会役員と指導員は必携です。1部 1,000円です。

FAXないしEメールにてお知らせ下さい。

県連協・全国連協 当面の主な予定

6月27日(水) 第21回県学童保育指導員基礎講座(於さいたま市産業文化センター)

7月7日(土) 07年度第1回代表委員会(さいたま市桜木公民館)

9月8(土)~9日(日) 第23回県合宿研究会(於嵐山・国立女性教育会館)

8日(土) 第2回代表委員会(同)

10月予定 第35回県指導員学校(埼玉県・さいたま市と共催)
(於埼玉県立大学・予定)

11月10日(土)~11日(日) 第42回全国学童保育研究集会 in 東京

FAX送信書048(644)1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

(送り先) 氏名 _____

住所 _____

電話 _____ FAX _____ メール _____

『よくわかる放課後子どもプラン』注文票

A5版160ページ 定価1,700円(税込)の1割引の1,530円でお分けします(送料別)

編集 全国学童保育連絡協議会 発行 (株)ぎょうせい

< 目次 >

第1章 「放課後子どもプラン」とは

第2章 文部科学省の「放課後子ども教室」とは

第3章 学童保育を推進する厚生労働省の方針

第4章 学童保育の現状と課題

第5章 学童保育の拡充と地域の子育て支援の課題

寄稿 地域の子育てと「放課後子どもプラン」

- 「机上のプラン」から「発達保障プラン」に -

増山 均(早稲田大学文学学術院教授)

資料編 放課後子どもプラン推進事業の実施要綱等(18資料掲載)

[] 冊注文 お名前

送り先 〒

お電話

FAX

E-mail

第22回埼玉県学童保育指導員基礎講座

「放課後児童クラブガイドライン調査研究報告書」(200円)希望部数

部送って下さい。

『研究集会資料集』(1,000円)希望部数

『県研究集会資料集』を

部送って下さい。

協議会の代表者、郵便物の発送先

地域連絡協議会会長名

住所 〒

電話 _____ F A X _____ Eメール _____

地域連絡協議会事務局長名

住所 〒

電話 _____ F A X _____ Eメール _____

指導員(会)代表名

勤務学童保育住所

〒

電話 _____ F A X _____ Eメール _____

県連協沿線会議出席者名

住所 〒

電話 _____ F A X _____ Eメール _____

県連協からの郵便物送付場所

住所 〒

電話 _____ F A X _____ Eメール _____

指導員のみなさん、新しい年度がスタートして2ヶ月余。新1年生も自分を出せてくるころでしょうか。指導員基礎講座を開催します。この研修会は、年度初めに当たって、今日の学童保育と指導員をめぐる情勢のもとで、ここを大事にしていこう、ここに力を入れていこうという事柄について確かめ、学び合う場として開催してきました。

【日時】2007年6月27日(水) 9:40~11:30(9:20開場)

【場所】さいたま市産業文化センター(地図参照)

【受講料】県連協・指連協会員は無料、非会員は300円

【講義】子どもと親を受けとめ励ます指導員の仕事
~子どもと親の生きづらさに心を寄せて~

【講師】亀卦川 茂さん
(富士見市水谷放課後児童クラブ指導員)

主催/埼玉県学童保育連絡協議会・同指導員連絡協議会 後援/埼玉県

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

T E L 048(644)1571 F A X 048(644)1572 e-mail gakuoust@yahoo.co.jp